

かんしゃくを主訴として受診した発達外来症例における、

かんしゃく行動の変化と育児観の関連に関する後方視的調査

市立福知山市民病院 小児科では、かんしゃくを主訴として受診した患者さんを対象に臨床研究を実施しております。

実施にあたり市立福知山市民病院倫理委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

「かんしゃく」行動に対する医療的対応・助言によってかんしゃくが改善するか、また保護者の育児に対する考え方にどのような傾向があるかを調べることで、今後同様の課題に直面する家族への支援法開発に役立つことが期待されます。

研究の方法

・対象となる方について

2024 年 4 月～2025 年 3 月に市立福知山市民病院小児科発達・行動外来を受診された方のうち、初診時に「かんしゃく」を主訴としていた方を対象とします。

・研究期間： 倫理委員会承認後から 2025 年 12 月末日（予定）

・方法： 対象者のカルテより、初診時と最近の受診時におけるかんしゃくの状況や対応内容を整理し、かんしゃく行動の改善があったかを検証します。

外来受診時、保護者に「母へのアンケート調査 ver. 3」への協力を依頼し回収します。

アンケート結果を統計的に解析し、改善の有無や保護者の対応方針との関連を解析します。

・研究に用いる情報について

カルテから「かんしゃく」に関連する状況・対応内容を抽出します。またアンケート結果を用います。

・ 外部への情報の提供はありません。

・ 個人情報の取り扱いについて

カルテから抽出した情報およびアンケートから得られたデータは研究責任者（市立福知山市民病院 小児科 医長 諸戸 雅治）が責任を持って管理し、鍵のかかる机に保管します。データはすべて統計的に処理し個人が特定される形で結果を公表することはありません。

・ 情報の保存および二次利用について

カルテから抽出した情報およびアンケートは原則としてこの研究のために使用し、研究終了後は、市立福知山市民病院 小児科において医長・諸戸 雅治の下、論文発表後 10 年間保存させていただいた後、研究用の番号等を削除し、廃棄します。

情報を用いられることを拒否したい場合、又は疑問や質問がある場合は、下記の問合せ先にご連絡ください。

研究組織

研究責任者：	市立福知山市民病院 小児科	医長 諸戸 雅治
研究担当者：	京都府立医科大学 京都府小児地域医療学講座	教授 栗原 康通
	市立福知山市民病院 精神神経科	米澤 舞菜
		宮 裕明

お問い合わせ先

ご希望があれば参加して下さった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2025 年 12 月 31 日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先

市立福知山市民病院 小児科 医長 諸戸 雅治（もろと まさはる）

電話番号：0773-22-2101（病院代表）

受付時間：月曜日から金曜日 9:00-17:00 ※祝日を除く